

ifia JAPAN 2021 食の安全・科学フォーラム 第20回セミナー&国際シンポジウム

食品の輸出入拡大と穀物の衛生管理

Expansion of food imports and exports and grain sanitation management

主催：日本食品微生物学会、日本食品衛生学会、日本食品化学学会
共催：日本食品衛生協会、食品産業センター、食品化学新聞社

日時	令和3年5月14日(金) 10時00分～16時40分(受付開始9時30分)	
場所	パシフィコ横浜 アネックスホール F202	
定員	60名(事前申込み締切 5月7日)	
受講料	事前申込み 主催学会/共催団体会員 全日	8,000円
	事前申込み 主催学会/共催団体会員 半日(午前または午後)	6,000円
	事前申込み 一般 全日	10,000円
	事前申込み 一般 半日(午前または午後)	8,000円
	当日申込み(会員割引なし)	13,000円

プログラム(予定)

- 10:00-10:02 総合同会挨拶 日本食品衛生学会代表 宮下隆氏
- 10:02-10:05 主催者代表挨拶 日本食品化学学会代表 佐藤恭子氏
- 第一部 食品の輸出入に伴う規格基準と国際整合性(質疑応答は随時)**
座長：一般財団法人食品産業センター 振興部・海外室 山口隆司氏
- 10:05-10:50 農林水産物・食品の輸出促進事業について(米と米粉を例にして)
農林水産省政策統括官付 農産企画課米穀貿易企画室 課長補佐 島本健一氏
- 10:55-11:40 食品の残留農薬に関するリスク評価と国際整合性(仮)
内閣府 食品安全委員会事務局 リスクコミュニケーション官 藤田佳代氏
- 11:45-12:30 食肉の輸出拡大に向けた取り組み(仮)
厚生労働省医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸出食品安全対策官 佐々木菜保子氏

昼 休 み

- 第二部 穀物の衛生管理** 座長：明治薬科大学 特任教授 永山敏廣氏
- 14:00-14:45 穀物を中心とした食物アレルギー表示制度の現状
国立医薬品食品衛生研究所 生化学部第3室長 安達玲子氏
- 14:50-15:35 穀物中の残留農薬分析について
一般社団法人残留農薬研究所 参事 坂真智子氏
- 15:40-16:25 穀物の有害金属・元素の検出法と国内外の規格基準
国立医薬品食品衛生研究所 食品部第4室長 鈴木美成氏
- 16:25-16:35 質疑応答 午後の部
- 16:35-16:40 閉会挨拶 日本食品微生物学会代表 工藤由起子氏

詳細：<https://www.ifiajapan.com>

申込みはこちら→

事務局：(株)食品化学新聞社 今立、森下 TEL. 03-3238-7818

